

1984年1月～2006年12月に国立がん研究センター中央病院にて子宮頸がんに対する手術を受けた方へ

研究:「子宮頸癌に対する広汎子宮全摘出術の病理所見と予後の解析および手術合併症の実態調査」の実施について

### 1. 本研究の意義および目的

子宮頸がんに対する広汎子宮全摘術は、根治性を高めた手術として確立されています。しかし手術後に排尿障害が生じるという問題点があります。この対策として、再発リスクの低い患者さんには従来よりも合併症の少ない手術法を導入することを目指しています。その目的のために、国立がん研究センター中央病院で広汎子宮全摘術を行なった患者さんの経過を解析し、再発リスクの評価と合併症の発生状況をまとめることが本研究の目的であります。

### 2. 研究の方法

研究の対象となる患者さんは、国立がん研究センター中央病院において、1984年から2006年の間に治療を行った子宮頸がん患者のうち次の条件を全て満たす方です。

- ・組織型が扁平上皮がん、腺扁平上皮がん、粘液性腺がん、類内膜腺がんである。
- ・進行期が1B期である。
- ・根治的手術療法を行なっている。
- ・術前治療は行なっていない。

対象患者さんについて、診療録から病理組織学所見、術後の経過、術後排尿訓練の経過、手術合併症についての情報を収集し、統計学的な解析を行ないます。

取得した診療情報には番号を付与し匿名化いたします。

### 3. 試料等の保存および使用方法について

集積した資料は国立がん研究センター内の個人情報の管理が許可されているサーバーにデータを保存します。本研究以外で使用することはありません。

### 4. 研究全体の期間と予定される患者さんの数

研究期間は国立がん研究センター中央病院にて研究許可後1年間です。予定される患者さんの数は461名です。

### 5. 研究結果の公表について

本研究の成果は婦人科腫瘍学に関する全国学会、国際学会および学術雑誌で発表いたします。

### 6. 研究の開示について

この研究について、さらに詳しい内容を知りたい場合は、他の患者さんの個人情報保護やこの研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画、方法(および結果)についての資料を見ることができます。希望される場合は、下記(10)連絡先までご連絡ください。

### 7. 個人情報に関して

個人のプライバシーに関する情報は守られ、個人が特定されることはありません。

**8. 本研究への参加を拒否する場合**

本研究の対象となることを拒否される場合は、研究対象から除外いたします。下記(10)連絡先までご連絡ください。

**9. 研究機関、研究責任者および研究者**

【研究機関】 国立がん研究センター中央病院

【研究責任者】 婦人腫瘍科 外来医長 石川光也

**10. 連絡先**

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

国立がん研究センター中央病院 婦人腫瘍科 石川光也

TEL: 03-3542-2511 内線 7847

FAX: 03-3542-2547

本研究の対象となることを拒否する場合は、連絡先までご連絡下さい